



プロジェクト名 鳥取の海をテーマとした子供向け体験プログラムを考える



鳥取県の魅力の一つでもある「海」。そこには多様な生物が生息し、漁業などを通じ多くの人々が関わりを持って生活をしています。このプロジェクト研究では、鳥取の海の「環境の多様性」「生物の多様性」「文化や産業の多様性」を学びます。そして、鳥取の海の魅力を子供達に伝える「体験プログラム」を企画し、これを地元のテレビ局(日本海テレビ)と連携して実行することを目指して活動しています。

最初に、日本海テレビを訪問し、イベントの趣旨や企画内容について入念な打合せを行いました。



▲ 日本海テレビにおける打合せの様子

受講生達は主体的に企画を立案した後、実際にフィールドに出かけたり、試作品を作成したりするなど、企画の実現に向け試行錯誤をしながら、子供達が楽しみながら学ぶことが出来るプログラムの開発を進めています。



▲ 岩美町小栗浜におけるフィールドワーク



▲ 魚調理の実習(津ノ井公民館にて)

提案したプログラムは、テレビ局や漁業関係団体と協力し、岩美町に開所した「公立鳥取環境大学むらなかキャンパス」において夏休み(8月)のイベントとして実際に開催し、地域の子供達へ還元することが予定されています。

プロジェクトアドバイザー 地域イノベーション研究センター 太田 太郎 特命准教授

プロジェクトメンバー

環境学部	1年: 穴井 ゆりか、犬塚 大智、上田 壮一、宇津野 佑妃
	2年: 長本 彩花、深川 浩暉、堀 友樹、前田 仁也
経営学部	1年: 石原 晴生、伊東 福来、大橋 総治郎、小川 陽平
	2年: 多田 樹、永見 駿弥、野々上 咲弥、濱田 詩織、日高 皓介